

本大会は、参加型モータースポーツをめざし、多くの方が参加しやすく安全に楽しくモータースポーツを行うことを趣旨とし、カート競技規則とその付則ならびに本特別規則書を基に従って開催されます。本大会は参加者が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対する配慮等を出来るようにし“ルールとマナー”を尊重しながら、順位にこだわらず参加型モータースポーツを楽しむことを目的とします。

第1章 大会開催に関する事項

1 本規則書の適用するイベントの開催場所・日程

| | | |
|-------------------|-------|-------------------------|
| 第1戦 美浜サーキット | 3月15日 | スプリント1 + スプリント2 + 4時間耐久 |
| 第2戦 フェスティカサーキット瑞浪 | 4月26日 | スプリント1 + スプリント2 + 4時間耐久 |
| 第3戦 幸田サーキット | 6月7日 | 5時間耐久 |
| 第4戦 本庄サーキット | 9月27日 | スプリント1 + スプリント2 + 4時間耐久 |
| 第5戦 琵琶湖スポーツランド | 11月8日 | スプリント1 + スプリント2 + 4時間耐久 |

2 大会目標

- 1) 全チーム完走目標で、参加者全員がイベントを楽しみ、順位にこだわらず完走をめざせるイベントを目指します。
- 2) ペナルティが無くマナーのよいモータースポーツイベント作りを目指します。
- 3) 初めてモータースポーツイベントに参加する人でも、廻りの協力によって楽しく参加できるよう協力して下さい。
- 4) “ルールとマナー”は一人一人で考え、守っていくものです。他を中傷せず、まず自分がモータースポーツを楽しみましょう。

3 公式通知に関する規定

本規則に記載されていないイベント運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及びイベント通知によって公示されます。なお、公示の方法は代表者にメール送信又はr-kartホームページ又はFBページにて告知するか、開催時に告知されます。

4 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則としては延期され、イベントの全てが取りやめになった場合エントリー費は事務手数料（各主催者の規定によります）を引いて返還されます。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しません。

なお、主催者はイベントの内容及び規則をシーズン途中であっても変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

第2章 参加に関する事項

1 エントリー費用

エントリー費用 1チーム ¥ 55,000

2 エントリーの受け付け

- 1) エントリー受付… 開催日の1ヶ月前からとします。各イベントのエントリー方法に準じてお手続き下さい。
エントリー時にはチーム編成登録書も提出して下さい。
- 2) 参加資格…… 健康でカートをコントロールする技能を有し、走行ルール、マナーを熟知し、安全に楽しくイベントが出来るドライバーであること。
年齢制限は高校生以上とします。但し主催者が認める場合はこの限りではありません。
未成年者は親権者の同意が必要です。
1チーム最低参加人数は3名以上 8名以下とします。
- 3) ドライバーの登録・変更 ドライバーの登録・変更は原則一週間前までに確定。それ以降から前日まで可能ですが有料とします（@3,000円）
- 4) スポーツ安全協会（r-club）への加入（4月から翌年3月まで有効）が必要です。（ドライバー全員が対象です。）
開催日1週間前までにr-club申し込み専用サイト <http://www.r-kart.jp/rclub/> よりお申込み下さい。
- 5) チーム編成登録書の提出、r-clubへの加入手続き、エントリー費・r-club会費のお支払いが確認された時点でエントリー受付完了とします。
- 6) エントリー受付完了順により、ピットガレージの位置が決まります。
- 7) 当日参加受付時に誓約書・車検自己申告書・チーム申告書・チームプロフィールを提出して下さい。
受付時間以降の提出は120秒ペナルティーストップまたは2LAP減算のペナルティーが課せられます。
各書式はr-kartホームページの4stスケジュールよりダウンロードして下さい。
- 8) 主催者は理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィー及び保険料は全額返還されます。また、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 9) 一旦受理されたエントリーフィー及び保険料はいかなる理由があっても返還されません。

第3章 車両に関する事項

1 イベント車両

エンジン

・スポーツカートエンジンクラス

エンジンは登録された国内で販売されている汎用4ストrokeエンジン又は主催者が認めたエンジンに限られます。

※音量の制限は90db以下です。（計測方法・マフラー排気後方1m排気口横から1mの45°の場所で4000rpm時点の音量）

走行中は95db以下の車両に限ります。コース内で測定しており音量をオーバーした車両にはオレンジボールが提示されます。提示された車両は速やかにピットに戻り音量を下げる対策をしてください。音量は規定内以下に下げられない場合、走行する事は出来ません。

ガソリンはガソリンスタンドで購入できる一般市販の物に限ります。レギュラーガソリン又はハイオクタンガソリン

SPORT KART Enjoy A / B / C 共通規則

- 1) エンジン本体は市販状態から変更はできません。
- 2) 禁止される事項：点火装置・点火時期の変更、燃料計及び燃料流量計の使用、フライホイールへの加工など
- 3) 使用しているエンジン型式内での純正パーツの交換は認められます。
- 4) ガバナー装置の取り外し、回転リミッターの取り外しは可能です。（WORLD FORMULAはリミッターの交換は不可とする）
- 5) セルモーターによるエンジン始動を推奨します。
- 6) 製造者が申請し大会事務局が公認した物の使用は可能です（性能変化が無くエンジンを保護する目的で一般販売されている物）

クラス区分

シーズン中に新たなクラスを追加することがあります。

Enjoy A 市販状態から基本的に完全ノーマル

（ゼッケンベース白に黒文字）

- 1) 指定エンジン SUBARU EX21/EIKO EX21E/HONDA GX200/YAMAHA MZ200/B&S 206
 2) 変更できるエンジンパーツは下記の通りです

| エンジンカバー | プラグキャップ | プラグコード | プラグ | ジェット類 | フロントギアの歯数 | ドレンプラグ |
|--|------------------------------|--------|-----|-------|-----------|-----------------|
| Enjoy B 市販状態から基本的に完全ノーマル | | | | | | (ゼッケンベース赤に白文字) |
| 1) 指定エンジン 上記Enjoy Aに加え SUBARU KX21/Robin KX21R | | | | | | マフラーはr-マフラー指定 |
| 2) 変更できるパーツは下記の通りです | | | | | | |
| エンジンカバー | プラグキャップ | プラグコード | プラグ | ジェット類 | フロントギアの歯数 | ドレンプラグ |
| 但し、Enjoy Aの指定エンジンを使用する場合はキャブレター及びマフラーの交換は可能とします | | | | | | |
| Enjoy C 2025年もてぎK-TAI規則・クラス IIに準じる | | | | | | (ゼッケンベースは黄に黒文字) |
| 1) 指定エンジン 上記Enjoy Bに加え SUBARU EX27/B&S WORLD FORMULA・XR1450/HONDA GX200SP・GX270/YAMAHA | | | | | | |
| 2) 上記 Enjoy A・Bに加え変更できるパーツは下記の通りです | | | | | | |
| エキゾーストマニホールド/マフラー | インテークマニホールド/キャブレター 最大直径30φ以内 | | | | | |
| エアクリーナー | クラッチ | フロントギア | | | | |

・スポーツカートエンジン以外のクラス

| | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|-----------------|
| Enjoy M | | | | | | (ゼッケンベースは黄に黒文字) |
| 1) 指定エンジン ROTAX MAX | | | | | | |
| 2) 排気リストリクター(18mm(マイクロ用))を装着してください | | | | | | |
| 3) スプロケット:F13T/R79又は80T(コースによっては変更になることもあります) | | | | | | |

フレーム・その他

- 1) フレームは過去にJAF又はCIKの公認を受け、かつ安全に走行できる車両であること。又は主催者が認めたカート。
 - 2) シャーシを保護するカウルは前後・左右とも完全に取り付けられた物であり、一時的な取付は認められません。
 - 3) リアタイヤの50%以上を覆う大型リアバンパーが必備です。(CIK公認のリアス poiler を強く推奨します)
 - 4) イベント中、破損や故障による部品交換は認められます。
 - 5) 燃料タンクは純正のタンク以外認められないが、純正品がない場合、純正の同容量内で一般市販汎用品の交換を認めます。
 - 6) プローバイガスの大気開放は禁止。
 - 7) ドレンプラグ・オイルレベルゲージのワイヤーロックを必備とします。
 - 8) フロントブレーキ付きフレームの参加は可能ですが、プラス5kgの車重加算をします。
 - 9) ゼッケンは指定されたナンバーを前後左右に貼付けてください。なお、ゼッケンは参加者でご用意下さい。
- 10) 車両シルエットから突起した部品の取付けは認められません。部品の取付けは脱落の無いよう強固に取付けてください。
 - 11) サイドミラー(バックミラー)の取付は自由です。(脱落等の無いようしっかりと取り付けて下さい)
 - 12) テールランプ(赤灯)の取り付けを推奨します。(雨天等安全確保の観点から)
 - 13) 予備チェーンの装着は不可とします。
 - 14) 雨天時に水の吸い込み防止の為、カバー-279-32643-18を取り外しペットボトル等で雨対策することを認めます。その際はスポンジの取り外しを認めます。
ただしドライ宣言が宣告された場合5分以内にピットインしノーマル状態に戻してください。

タイヤ

- 1) イベントおいては国内レンタルカート用タイヤ1セットの使用を認めます。但し、走行に支障をきたすトラブルの場合は競技長の判断によります。
銘柄 Enjoy A/B/C DUNLOP : DFK2 / DRK-SP · ADVAN : ED · NEXXIVE : S1K
Enjoy M UNILLI (コースによっては変更になる可能性があります)
- 2) 使用できるレインタイヤは国内タイヤメーカーのSLタイヤとします。危険回避のため新品タイヤを推奨します。2セットまで使用可能。
- 3) シーズン途中に新たな銘柄を追加することがあります。

2 車両検査

- 1) 基本は自己管理です。表彰対象車両に対しての車検を行います。
- 2) 走行前の車両検査は安全走行のための簡易検査です。本来の車両検査はイベント終了後、入賞チーム対象者に対して行われます。各自事前に車両チェック及び体重・車重チェックをお願いします。また、タイムアタック終了後上位チームの重量測定をすることがあります。
- 3) 非合法な部分がありながら、簡易検査で発見されない時も承認を意味するものではありません。イベント中にそれに関する疑惑が生じた場合は黒旗の指示を、またイベント終了後に発覚した場合も失格又はペナルティの対象となります。
- 4) イベント終了後、全車15分以上の車両保管を行ないます。
- 5) 技術委員はスタートした全ての車両に車両検査を行なう権限を有するものとします。技術委員が検査を行なう際はメカニックは責任を持って車両の分解及び組み立てを行なわなければなりません。但し関係役員、当該車両のドライバー及びピットクルー以外は、車検に立ち合う事はできません。
- 6) 技術委員が行なう本条項の検査に応じない場合は失格となります。

3 最低重量

- 1) ドライバー全員の平均体重に車両重量を加えた重量(共に1kg未満切捨て)を
EnjoyA:145kg EnjoyB:150kg EnjoyC:150kg (W/Fは152kg/XR1450・MZ300は160kg) EnjoyM:160kg 以上とします。
(XR1450・MZ300のドライバーの体重は65kg以上とします)
- 2) 女性ドライバーは重量確認計測を免除し一律60kgとして算定します。(ただし主催者が認める場合を除き免除は1名のみとします)
- 3) ドライバーの平均年齢が55歳を超えるチームは規定重量より5kgが免除されます。但し、50歳以下のドライバーがいた場合は無効となります。
- 4) ウエイトを積載する場合はボルトで脱落しないよう固定して下さい。また、ウエイトにはゼッケンを記入して下さい。
- 5) フロントブレーキ付き車両は規定重量に5kg加算されます。
- 6) ウエイトの脱落は5LAPの減算とします。
- 7) 重量規定違反は20LAPの減算とします。

4 車両無線・携帯電話

- 1) 車両無線・携帯電話の使用を許可します。但し本庄・琵琶湖ラウンドは使用不可とします。
但し、給油所及び主催者の指定した場所では機器の使用及び所持を制限します。
- 2) 無線機は日本国内で使用を認められたものに限ります。
- 3) 器具は確実に固定され脱落の無いようにしてください。

5 服装

- 1) 服装は上下つながっているつなぎ(長袖、長ズボン)以上を原則とします、グローブを着用(軍手は不可)、シューズは運動靴。

カート用レーシングスーツ着用を推奨します。シューズはくるぶしまで隠れる物を推奨します。

- 2) ヘルメットはフルフェイスを着用します。（オートバイ用も可能です）ジェット型等、顎を保護する物が無いものは不可
- 3) リブプロテクター及びネックガードの装着を強く推奨します。ご自分の体はご自分で守りください。

第4章 イベントに関する事項

1 信号（フラッグ）

- 1) イベント中ドライバーに対する走行指示は、コースサイドに設けられたポストのオフィシャルから出るフラッグに従い行なわれます。
黄旗/緑旗/白旗/赤旗/青旗/黒と白のチェック旗/黒旗/赤の縦縞のある黄旗/橙色の円形のある黒旗
- 2) 全参加者はフラッグの意味を理解していることとします。
- 3) コースフラッグ以外に本イベント独自のボードを提示する場合があります。
SCボード/PXボード

2 イベントスケジュール

参加にあたって、タイムトライアル（TT）・スプリント1（SP1）・スプリント2（SP2）に参加する3人のドライバーを決めておいて下さい。

3人の内の1人は最も体重の重たいドライバーとします。重複参加はできません。

1) 参加受付

誓約書・車検自己申告書・チーム申告書・チームプロフィールを提出して下さい。

チーム申告書にはどのドライバーがTT・SP1・SP2に参加するか必ず記入して下さい。誰がどこを走るかは自由です。

2) 公式練習及びタイムトライアル

走行時間は45分

全てのドライバーは公式練習に参加し、走行後に体重を測定をして下さい。

公式練習チェック前5分間をタイムトライアル時間とします。この間にピットインはできません。

車両回収はチェック後となります

3) スプリント1

走行時間は10分 + 1 LAP

スタートインググリッドはタイムトライアルの順位とします。

車両回収はチェック後となります

4) スプリント2

走行時間は10分 + 1 LAP

スタートインググリッドはスプリント1の順位とします。

車両回収はチェック後となります

5) 決勝スタート前進行

タンク内のガソリンを全て抜き、決勝前に指定されたガソリン量を給油してグリッドに整列して下さい。

6) 決勝4時間耐久

スタートインググリッドはスプリント2の順位とします。

スタート後10分間はピットインすることができません。（第4章8-8）

スタートから10分間（タイミングは走行状況により伸びる場合があります）とチェック前20分間は給油所を閉鎖します。（第4章13-16）

チェック前20分間は車両回収は行いません。（第4章7-4）

チェックを受けるドライバーの指定はありません。

7) その他

タイムトライアル開始からスプリント2のチェックまではマシンのセッティング変更及び給油はできません。マシンの補修は認めますがグリッドは最後尾となります。

但し、タイムトライアル終了からスプリント1のスタートまではチェーンオイル塗布・エア圧調整・チェーンの張り調整のみ認めます。

3 スタート

- 1) 信号によるブラックアウトにてスタートですが、台数などによって一列隊列によるローリングスタートになる場合があります。
コースによっては独自の方式によって決定する場合があります。
- 2) 指定時間内にスタートインググリッドにつけなかった車両、及びエンジンストップしてスタートできなかった車両はピットにて修理した後、コース員の指示によってピットからのスタートとなります。
- 3) スタート進行手順はドライバーズブリーフィングで説明します。

4 出走台数

- 1) イベントの最大出走台数はコース毎に決定されます。

5 イベント中のルール（レーシングカートのルールは適用せず、わかりやすくイエローカード制を適用します。）

（レーシングカートのルールは適用せず、罰することが目的ではなく最後までルールを守って頂き、完走した喜び・カートのおもしろさを理解して貰うためイエローカード制を適用します）

- 1) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカートの走行を妨害してはならず、また前方のカートは後続車の進路を妨害してはなりません。
- 2) コース員が反則または妨害行為（故意なブッシング、ブロックングその他の非スポーツマン的行為）とみなした者については、イエローカードを発行します。
- 3) コースインする場合、ホワイト及びイエローインをまたがり、指定地域まで走行ラインをキープして下さい。
- 4) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。（ピットエリアも含む）
- 5) イベント中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。
- 6) 故意にコースから車両を離して走行することはショートカットとみなされます。
- 7) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びイベントに復帰して下さい。
- 8) イベント中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカートをイベントの障害とならない場所に移動しなければなりません。但し、他を妨害することなく自力で再スタートできる場合にはイベントに復帰できます。
- 9) コース上での再スタートはドライバー自身で行なわなければなりません。（女性・子供の場合、援助する事もあります）
- 10) コース上でエンジンを再始動する場合はセルモーターによる始動のみとします。リコイル式の場合はコース係員が始動しますので安全な位置に車両を移動させ待機してください。
- 11) イベント中にゼッケンまたはゼッケンプレート及び計測器が脱落等で判読不可能となった場合は、周囲が記録されないことがある為チームにおいて確認チェックする必要があります。計測器を紛失した場合所定の費用が掛かります。
- 12) ドライバーは工具等を携帯することはできません。また工具を取りにピットへ戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできません。
- 13) ドライバー交替やピット作業は決められた場所で行なわなければなりません。
- 14) イベント進行中、定められた場所から出たカートはイベント放棄したものとみなされ、再びコースに入る事はできません。
- 15) 事故や接触に見舞われたカートや あご紐の締め忘れ等、安全に係わる確認が必要と判断された場合はオフィシャルによって確認のために停止を命じられる

ことがあります。その際、問題がなかったとしても抗議は受け付けられません。

- 1 6) 本イベントは、不適当もしくは危険とみなしたカート及びドライバーを除外する場合があります。
- 1 7) トラックとピットロードを区分するクラッシュパッドに接触しないようにしてください。接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティの対象となる事があります。
- 1 8) 極端な燃費走行は禁止します。チームペストラップから30秒遅れを目安とします。あまりにも遅い場合はオレンジボールの対象となります。
- 1 9) 公式練習または決勝イベント中に全ドライバーの体重を測定することがあります。体重は1kg単位とし端数は切り捨てます。

6 ペナルティ（安全にイベントを進行、完走する事が目的のためペナルティ制度を導入します）

イエローカード イエローカード2枚で120秒のペナルティーストップ又は2LAP減算

- 1) ブッシング 2) 無理な割り込み 3) ブロックング 4) ピットロードでの徐行無視・追い越し・ピット内の制動時タイヤ鳴き
- 5) フラッグ（信号等含む）無視 6) コース外走行やコースアウト時での無理な復帰・スピンドル後の無理な復帰
- 7) 上記以外オフィシャルが判断した場合。 8) 走行中の部品の脱落

オレンジカード又は相手に損害を与えた場合 1枚で120秒のペナルティーストップ又は2LAP減算

- 1) スポーツマンルールに反した場合 2) オフィシャルが判断した危険な行為 3) ドライバーとしての義務を怠った場合 4) 指定場所以外での喫煙

その他

ペナルティの説明

- 1) ペナルティが重なった場合、周回数の減算又ピットストップペナルティ又は当該のドライバーへ失格が課せられる事があります。
- 2) ペナルティ時は該当車輌に対し黒旗が掲示されるかチーム代表者が呼ばれ、上記ペナルティを受けます。
- 3) その他の危険と判断されるペナルティー・失格の適用は以下の通りとします。
進路妨害、逆走、フライング、ピットアウト時の進路妨害、安全走行義務違反、ピット作業違反、イエロー（ホワイト）ラインカット、危険行為、その他。
- 4) 失格・危険行為、故意にオフィシャルの指示を無視する行為、その他悪質な行為を行ったドライバーは失格となります。
- 5) ペナルティは累積される為、走行中のドライバーがそれ以前のドライバーの起こしたイエローカードの累積でペナルティーストップや減算を受ける事があります。
- 6) ペナルティは競技長の判断により、軽減したり加算される事もあります。
- 7) エンジンをスペアフレームにのせかえる、最低走行時間違反、ダブルチェック（チェックカーフラッグを2度受けること）などの行為に関しては競技長の判断により120秒のペナルティーストップ又は2LAP減算のペナルティーが課されます。

7 車両回収

- 1) ラブレル発生時には以下のいずれかの方式で車両回収を行います。
・セーフティーカー・ブッシングカート・ニュートラリゼーション
- 2) 回収方法の詳細はブリーフィングにて説明します。
- 3) 回収後、車両を修復しコースに復帰することができます。
- 4) 車両回収時間・車両修復時間は共に走行時間に含まれます。走行時間をオーバーする様でしたらその旨を給油所長に申告してください。車両修復後コースインする場合もその旨を給油所長に申告してください。走行時間はリセットされます。
- 5) チェッカー前20分間は車両回収は行いません。

8 ピットイン・ピットアウト及び回数（ドライバー交代）

- 1) 一人のドライバーが連続して40分以上走行する事は禁止します。また最低10分以上の走行を義務付けます。
- 2) ドライバーや車両に不具合の有った場合の対応時間も走行時間に含まれますので、その時間が40分を超える場合は事前にオフィシャルにその旨を申告して下さい。またコースインする際もオフィシャルに申告の後コースインしてください。申告のない場合は規定走行義務違反になる可能性があります。
- 3) ドライバー交代は指定の場所で交代します。その場合、オフィシャルに交代の申告をする必要があります。（ピット滞在時間の制限はありません）
- 4) ピットエリア内安全スピード30km走行。危険と見なされたスピードを出している車両にはイエローカードかピットスルーペナルティーが課せられます。
- 5) 参加ドライバーはイベント走行時間の最低10%を走行する義務があります。（5時間イベントの場合、最低30分以上）
- 6) 合計9回以上の給油またはドライバー交代を義務付けます。（イベント時間が短縮された場合はこの限りではありません。）
- 7) 義務ピット回数不足は1回につき10LAPの減算とします。
- 8) スタート後10分間はピットインすることができません。10分を経過してピットロードがクリアの状態になってから係員指示によりピットインが可能となります。
車両トラブルがあった場合は係員の指示に従い指定された場所で待機、規定時間経過後ピットに戻ることができます。その際給油をすることはできません。

9 ドライバーサイン

ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティを課すことがあります。

- 1) コース上で停止した場合は、両手を高く上げ、他の走行車輌に合図する。
- 2) ピットイン、ピットアウトする場合は、他車にわかるよう片手を頭上に高く上げる。

10 完走者と順位の決定

- 1) 完走者とはイベントの着順1位の者がコントロールラインを通過しチェックを受けた後に5分以内に自力で同ラインを通過しチェックを受けたチームとします。
- 2) 「自力」の定義は、他のいかなる人の援助も受けずカート自身がもつ動力のみによりコース上を正しい方向に進行できる状態をいいます。
またコントロールラインを通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。
- 3) コントロールライン通過後チェックを受けたドライバーは徐々にスピードを落とし（追越禁止）コースを走行してピットインしなければなりません。
- 4) 順位はコントロールラインを通過した周回数に基づく完走者で、チェックを受けていない車両はチェックを受けた車両の後に順位を確定します。
- 5) 規定の時間を終了する以前に誤ってチェック旗が表示された場合は、その時点を以てイベント終了とします。また遅れて（時間又は周回数）チェック旗が表示された場合は、チェック旗とは無関係に、イベントは規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。
- 6) チェッカー予定時間20分前からの救済（ブッシングカート・セーフティーカー等）はしません。走行不能となった場合、ドライバーはマシンをコース外の安全な場所に止めチェックまでその場で待機してください。その際ヘルメットは外さないでください。

11 ウイナーズハンディキャップ（シリーズポイントには合算しません）

クラス別にハンディキャップタイムを付与し、その累積合計により次戦以降下記のハンディを負うものとします。

1位：2分 2位：1分30秒 3位：1分

ハンディーは4時間耐久スタート後1時間以内に終わらせること。ストップ時間は走行時間に含まれます。

ハンディキャップ消化エリアはコースによって異なりますのでブリーフィングにて説明します。

最終戦においては本ハンディキャップは適用しません。

12 ピット及びパドック内におけるルール

- 1) ピットクルーの行為に関する最終的な責任は、チームに帰属します。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバー（チーム）に対する黒旗の提示となることがあります。登録されていないチーム関係者も同様とします。
- 2) ピットエリア内における火気の使用は全て禁止します。
- 3) 燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶に保管して下さい。
- 4) パドック内での走行は30km以内の徐行です。（速度違反はイエローカードの対象となります）

- 5) パドック内の喫煙は指定喫煙所を除き厳禁とします。これに違反したドライバー及びピットクルー・関係者は2LAP減算の対象となりその状況によっては大会から除外される場合もあります。

13 給油

- 1) 給油作業は消火器持参のうえ、交代するドライバー2名と給油係1名の合計3名で行って下さい。
 - 2) 給油は全クラス大会指定の5Lタンクを使用します。タンクは各チームでご用意ください。指定タンク (株)エーゼット 品番: F059
給油量はノズル・キャップを含め2000gとします (EnjoyMクラスは2900g)。計量は給油所で行います。
 - 3) 練習走行終了後は指定場所以外での車両への給油を禁止します。
 - 4) 各チームのパドックにて事前に計量して給油に備えて下さい。秤は各チームでご用意してください。
 - 5) 給油所での計量後はパドックへ戻ることはできません。その際、規定量をオーバーした場合は2LAPの減算とします。
規定量をオーバーした量によっては更なる減算が課されます。
 - 6) 給油時間はEnjoy A/B/C/D/M共に180秒のピットストップタイムが義務付けられます。給油時間は走行時間に含まれます。
 - 7) ピットストップ時間計測用のタイマーは各チームでご用意ください。
 - 8) 給油所は基本的に1レーンで給油作業台数は3台までとします。但し総参加台数が20台以上の場合には5台とします。
 - 9) 給油レーンは追い越し禁止です。
- 10) 消火器を各チームでご用意ください。種類【ABC粉末タイプ】大きさ【10型(内容量3kg)以上】使用期限が過ぎているものは不可とします。
但し、2026年シーズンは瑞浪ラウンド以外は、種類【ABC粉末タイプ】大きさ【4型(内容量1.2kg)以上】の使用を認めます。
- 11) 消火器・給油タンク・タイマーにはゼッケンおよびチーム名を明記してください。
 - 12) 給油後、走行後のドライバーに対して抜き打ちで体重チェックを行う事があります
 - 13) 給油所では給油及びチェーンオイルの塗布以外の工具を使った作業を禁止します。
 - 14) 給油所では必ずドライバー交代をしてください。
 - 15) 走行して来たドライバーは給油作業が完了するまでヘルメットは外さないでください。(体調不良の場合は係員にその旨を伝えてから外すことを認めます。)
 - 16) スタートから10分間(タイミングは走行状況により伸びる場合があります)とチェック前20分間は給油所を閉鎖します。

14 抗議

エンジョイスポーツカートシリーズはイベントのため、抗議は受け付けません。

第5章 成績及び賞典に関する事項

クラス別にESKシリーズポイントが付与され、クラス別に表彰されます。(各クラス年間の参加台数30台以上)

ESKシリーズポイントは下記のとおりとし、完走したチームに与えられます。クラス参加台数が5台以下の場合は下記の1/2(小数点第2位以下切捨て)とします。

T.T・スプリント1・スプリント2

| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | DNF |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ポイント | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | | | | | | | | | |

4時間耐久

| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | DNF |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ポイント | 20 | 16 | 13 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

5時間耐久

| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | 15位 | 16位 | 17位 | 18位 | DNF |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ポイント | 25 | 21 | 18 | 16 | 14 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 |

シリーズポイントはT.T・スプリント1 & 2・4時間耐久を合算したものとし、全戦有効とします。

本庄ラウンドは遠征ポイントとして、T.T・スプリント1 & 2・4時間耐久の合計の1.2倍を付与します。(小数点第2位以下切捨て)

有効シリーズポイントの合計が同点の場合はより多くのポイントを獲得した方、それも同点の場合は先にそのポイントを獲得した方を上位とします。

参加台数によって表彰されるチーム数が決まります。

NEXXIVEユーザーにはESKポイントと同様の算定でNEXXIVE賞を設けます。(上位3チームの抽選とします)

シリーズポイントの裁量は事務局にて判断させて頂きます。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車両の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保証、責任を負わないものとします。また、コース設備等を破損した場合は参加者自身で修復費用をご負担ください。

第7章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められません。また、参加車両の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有します、ドライバーはこれを拒否することができません。

1.公序良俗に反するもの

2.政治・宗教に関連したもの

3.本大会に關係するスポンサーと競合するもの

第8章 保険・共済会

r-club (財)スポーツ安全協会

- 1) r-kartのスポーツ安全保険にご加入下さい。Enjoy Sport kart全戦で適応します。この保険は財団法人 スポーツ安全協会が主管する保険で日本サッカー協会をはじめ国内の多くのスポーツ団体クラブが加入している保険です。加入は事前に、4月から翌年の3月までの期間単位で一度加入するとr-kart共催イベント全てに対応します。年間会費は¥3,000です。詳しくはwww.r-kart.jp, r-clubにてご確認ください。
- 2) イベント中、事故等で怪我などをした場合は、必ず参加コースの指定病院のドクターの診察を受けて下さい。ドクターの診断がないと保険が適用されない場合があります。

その他

- 1) この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び、大会の目的と合致する場合、変更することがあります。変更する場合r-kartのホームページ又はフェイスブックページにて発表致しますが、大会当日フリーフィングで伝える事もあります。
- 2) 開催コースによっては、この特別規則書に無い規則や新たな規則等もあります、その場合、開催コースの規則が優先されます。
- 3) 競技に関する最終判断は競技長に委ねることとします。
- 4) 本大会において撮影された写真及び動画はスポーツカート耐久イベントの普及と振興のためSNS等に公開されることがあります。